



認知症とともによりよく生きるという考えや日々の工夫に触れ、
ツールとなるカードを使って、みんなで話し合ってみませんか？

● ゲスト・金子智紀氏 ●

慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 修士課程・Natural&Coreative Living Lab（井庭崇研究室）所属
NPO法人 認知症フレンドシップクラブ 本部スタッフ

福祉現場の創造実践を支援するためのメディアとして、「パターン・ランゲージ」の作成及び
実践の研究活動。「パターン・ランゲージ」の手法を用いて、それぞれの現場や組織、個人の中
に閉じてしまってる経験則や大切にされている「実践の知」を「ことば（ランゲージ）」にまとめ、
よりよい実践の方法の共通言語化、実践の有無に関係なく、現場の創造実践を支援している。

【開催日時】2019年6月19日（水） 9:30~11:00

【会場】株リプラス・ショールーム 神奈川県相模原市中央区横山台2-1

【参加費】3,000円（税込） 旅のことはカード付

【申込方法】右のQRコードの申込フォームに

(<https://form1ssl.fc2.com/form/?id=758fcf7b47fdb25b>)

必要事項を入力し送信して下さい。

【募集定員】20名

【申込締切】2019年6月12日（水）

※お車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用下さい。



「旅のことは」は、認知症であってもいきいきと前向きに過ごしている方々の秘訣を40個にまとめたものです。それぞれの秘訣・ヒントが「ことば」として日常会話で使えるように紹介されているため、簡単に日々の生活や会話、考え方の中に取り入れることができます。「旅のことはカード」は、旅のことはの内容を複数人で話し合っ意味を読み深めたり、意見や関連する経験談を交換したりするワークショップに使用したり、また気に入った工夫をいつも目に付くところに置いておく等の用途に使うことができます。コーティングされているため繰り返しの使用にも適していますが、書き込める素材なので、気が付いたことを書き足して自分専用のオリジナルなカードに作り上げていくこともできます。

※旅のことは：認知症とともによりよく生きるためのヒント web siteより

シニア世代の心身の特性に配慮した整理収納 comfy living



認知症とよりよく生きるヒント
旅のことはカード・ワークショップ